

北っ子

敷島北小学校だより

令和8年6月19日 校長 林 健一郎



大成功の修学旅行 ～6年生の集団力が光った!～

5月27日(水)～29日(金)の3日間、6年生が待ちに待った修学旅行に行ってきました。心配された雨も降らず、3日間の行程を終えることができました。6年生がみんなで作った、てるてる坊主のおかげですね。



江ノ島水族館見学、古都鎌倉のグループ見学、湘南の海辺散策、国立科学博物館見学、上野動物園見学、東京タワー見学、国会見学、ディズニーランド散策と、3日間スケジュールぎっしりの旅行でした。担任の齋藤先生が、あれもこれも経験させてあげたいと一生懸命企画したことがよくわかります。その忙しいスケジュールを見事にこなした6年生の集団力、さすがです。足をケガしていたり、乗り物酔いしやすかったり、様々な事情を抱える仲間がいる中、子どもたちは皆で楽しむために、お互いに声をかけ合い、助け合いながら、全行程を終えました。



修学旅行では、何を見て何を学ぶかも大事ですが、それは大人になってもできる経験です。それよりも、運命的に出会ったこの集団が、お互いに配慮し合いながら、時には譲り合い、時には支え合うことで楽しい思い出作りができた経験は、この先、大きな力になると思います。誰一人欠けることなく、皆で楽しめた経験、6年生の宝物にして下さい。



5年生もすごい!! ～凡事徹底の大切さ～

ある朝の下駄箱です。5年生の下駄箱に並んだ靴の、何と整然としていること…。他の学年も大体はそろっていますが、1足2足、乱れがある中でのこの1枚です。すごいで、5年生!!

甲斐市では、「甲斐っ子の宝」プロジェクトの一環として、「心をそろえる」活動として、下駄箱・机・ロッカーの整頓を日常的に行っています。まさにそれを表した、美しいひとコマですね。

ABCという取り組みを知っていますか? 「当たり前のことを・馬鹿にせず・ちゃんとやる」取り組みです。「凡事徹底」という言葉に言い換えても良いでしょう。整理整頓はもとより、あいさつや清掃など、毎日の当たり前の活動がきちんとできることは、社会に出てからも必要とされる人間力です。

ご家庭ではどうでしょうか? できていなければ、「学校ではできてるでしょ!」どんどん言ってくださいね。



そんな5年生が田植えに挑戦しました。指導してくださったおやじの会の皆さんからも、「よく働く、いい子たちですね」と、お褒めの言葉をいただきました。5年生らしく、整然と植えられた早苗を見て、子どもたちのように、大きく育てて欲しいと感じました。



児童総会開催 ～安心・安全で楽しい学校生活を送るために～

6月11日(木)、3～6年生が体育館に集まり、児童総会が開催されました。本年度の児童会活動の基本方針について話し合い、決定しました。

本年度の児童会活動として皆で確認した内容は、

- ① 毎月のめあてを意識した生活をしましょう。
- ② あいさつをしっかりしましょう。
- ③ 廊下を走らないように、右側通行しましょう。
- ④ 助け合い活動（募金や救援米活動）に協力しましょう。
- ⑤ 児童会で開催するイベントを楽しみましょう。
- ⑥ 各委員会の活動をがんばりましょう。



の6つの柱です。

児童会活動は、子どもたちが自分たちを取り巻く課題について、解決方法を考え、実践する「自治活動」です。将来、民主主義の担い手となる子どもたちが、「自分たちで考え、行動する」事を学ぶ場だとも言えます。

話し合いの中で一貫していたことは、「皆が安心・安全に生活できる、楽しい学校を作りたい」ということ

だったと思います。私たち教職員や保護者の皆さんは、児童会の一員ではありませんが、子どもたちの願いを実現するために後押しをしていくことが必要です。



6.10 あいさつ運動の様子

児童会役員を中心に、月に2回「あいさつ運動」が行われています。一方で、「本校の児童はあいさつができない」という地域の声も聞きます。ABCではありませんが、運動日だけあいさつをするのではなく、いつでも、どこでも、誰にでも大きな声であいさつできる北っ子になって欲しいと願います。ご家庭でもご指導をお願いします。

変わるもの、変わらないもの ～不易と流行～

先日、2年生がトマトの観察をしている様子に驚きました。「トマトの観察日記」を作っていたのですが、トマトの様子をスケッチするのではなく、タブレットで撮影しているではありませんか！！時代が変化するとともに、教育のスタイルも変化していくのだと見せつけられた思いがしました。



社会が発達し、私たちの価値観が多様化するのにあわせ、子育てに対する価値観も多様化し、「子育てに正解はない」といわれる世の中になっています。当然、私たち教職員も、時代の変化に合わせた教育活動を行うことが求められています。今の教育が難しいと言われる理由の一つがここにあります。子育てをする上で大切にしている価値観も家庭によって様々であるため、先生方は「この家庭は、何を大切に子育てしているのか」を理解しながら、個に応じた教育をすすめるようとしています。26日から始まる個別懇談では、ぜひ、それぞれのご家庭の教育観や、お子さんと接する上で大切にしていることなどをお聞かせください。

逆に、そんな中であっても、私たちが昔と変わらず子どもたちに伝え続けていることの一つに、「他人に危害を加えてはいけない」「他人に迷惑をかけてはいけない」という価値観があります。世間で起こっている凄惨な事件を目にするたび、その動機の単純さに唖然とさせられます。「軽い気持ちで」「遊び半分で」「ついカッとなって」どんな動機があったとしても、他者に危害を与えることは決して許されません。身体的な危害、精神的な危害、どちらも「いじめ」につながる要素です。ネット上のいじめや中傷など、大人から見えにくい方法で起こる事件も増えています。最近では、生成AIを使った画像処理で傷つけられる子どももいます。心配の種は増すばかりですが、子どもたちが被害者にも加害者にもなることがないよう、学校ではこれからも「どんな理由があっても他人に危害を加えてはいけない（他人に迷惑をかけてはいけない）」ことを、変わらず伝え続けていきます。ご家庭でも、この価値観だけは不変のものとしてご指導ください。

